

石田幹之助 （石田幹之助） 東洋史學者、文藝博士。明治二十四年十一月二十
 八日千葉縣生れ、昭和四十九年五月二十五日歿（八二—一九七五）。鹿杜
 村、村郷生。大正五年東京帝國大學文科大學史學科卒。十二年東洋文
 庫主事、昭和十七年國學院大學教授、二十一年日本大學教授、四十四
 年日本學士院會員。

著書『世界十大戰史』（合著・村川堅同監輯、大正四年二月十八日讀
 書會）、『歐人の支那研究』（昭和七年四月）二十五日共立社書店「現
 代史學大系」）、『明治以後歴史學の發達』（合著・歴史教育研究會
 編、昭和八年二月十八日四海書房）、『長安の春』（昭和十六年四月
 二十一日創元社）、『支那文化叢書』（合著・除村一學編、昭和十七
 年六月二十日各取書店）、『東亞史研究』（合著・前田廣紀編、昭和
 十九年九月十日生活社）『東亞問題』終刊號）、『南海の關する支那史
 料』（昭和二十年四月）二十日生活社）、『長安波古』（昭和二十五年十
 二月五日生活社「日本叢書」）、『「長安の春」抄』（昭和二十二年
 四月五日創元社「百花文庫」）、『増訂長安の春』（榎一雄解説、昭
 和四十二年五月十日平凡社「東洋文庫」）等。

